

平成28年12月17日(土)に行われる小中学生による音楽の祭典「岡崎市制100周年記念祝祭演奏会」で音楽監督を務める竹内雅一さんを訪ねました。



▲「色々な音楽に触れることが人の心を豊かにする」と竹内さん [撮影場所：名古屋芸術大学]

STYLE

きらり輝く岡崎人

竹内 雅一 さん

◆たけうち まさいち さん

名古屋芸術大学大学院音楽研究科・音楽学部教授。クラリネット奏者。演奏活動だけでなく、数多くのオーケストラや吹奏楽団で客演指揮や指導を行い国内はもとより、海外でも活躍している。元能見町在住。57歳

Profile

来年12月に岡崎市民会館で行われる「岡崎市制100周年記念祝祭演奏会」。公募による小中学生297人で結成された演奏団は、9月26日(土)に結団式を行い、本番に向けこれから1年間、合唱、吹奏楽、管弦楽に分かれ練習を重ねます。その演奏会で音楽監督を務めるのが竹内雅一さんです。

4歳から小学6年生まで近所のピアノ教室に通い、常に音楽に触れる生活をしてきた竹内さん。城北中学校で吹奏楽部に入部し、顧問の先生に勧められクラリネットに出会いました。「入部した頃の私は体が小さく手も小さかったので、ふさげないトーンホール(クラリネットの穴)もあったんですよ」と、笑顔で当時を振り返ります。それでも熱心に練習を続け、中学3年生の時、高校でも音楽を続けると決意し、桜丘高等学校音楽科(豊橋市)に進学。クラスメート35人の中で男性は竹内さんただ1人でしたが、好きな音楽に囲まれて充実した日々を過ごしました。

高校卒業後は、名古屋芸術大学音楽学部器楽科に入学しました。その後、ベルギー・アントワープ王立音楽院に留学するなど、ますますクラ



▲9月26日(土)に行われた結団式の様子

リネットに没頭し、演奏技術を磨きます。これまでに小松孝文、山田喜代一、千葉国夫、ジャック・ランスロ、ワルター・ボイケンスの各氏に師事。現在は、演奏活動だけでなく、数多くのオーケストラや吹奏楽団で客演指揮や指導を精力的に行い、国内はもとより、世界各地で公演をするなど、活動の幅を広げていきます。また、「個性を大切に、一人ひとりに合ったレッスンをする」をモットーに名古屋芸術大学で後進を指導。「年齢の枠を超えて皆が同じ舞台上に立つことができ、言葉が通じなくても世界中の人とつながることができる世界共通言語のようなもの」と音楽の魅力を語ります。

「この街の皆さんの心に響く音楽を奏でたい。『響く』は郷の音と書きますが、未来を支える子どもたちと共に、自分たちのまち『岡崎』を大切に想う気持ちを伝えることができたなら素敵ですね」と演奏会に向けての思いを話す竹内さん。新たな時を刻む岡崎で、子どもたちと心あたたまるハーモニー作りが始まります。